

教科	芸術	科目	音楽I	単位	2	対象	第1学年A組～E組
使用教科書 (出版社)	Music View 1 改訂版 (教育出版)		使用教材 (出版社)				

月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	アカペラを歌おう 西洋音楽史①	三部のカノンや簡単なアカペラのコーラスを伸びやかな声で歌う。 豊かなハーモニーをつくるようにこころがける。 古代ギリシャ～中世までの音楽の変遷を理解し鑑賞する。	授業への意欲・関心、実習の取組状況をを通して総合的に評価する。	4
5月	アカペラを歌おう 西洋音楽史②	混声四部のコーラスを合唱によりアカペラで歌えるようにする。 ルネッサンス～バロックまでの音楽の変遷を理解し鑑賞する。	授業への意欲・関心、実習の取組状況をを通して総合的に評価する。	6
6月	アカペラを歌おう 西洋音楽史③	混声四部のコーラスを一人一部分4人でのアカペラで歌えるようにする。 バロック～古典派までの音楽の変遷を理解し鑑賞する。	授業への意欲・関心、実習の取組状況をを通して総合的に評価する。	8
7月	アカペラ 発表 西洋音楽史 試験	各グループごとにアカペラの発表を行う。 西洋音楽史の1学期の学習内容について試験を行う。	実技発表および定期試験を行い総合評価をする。	2
9月	ギターを弾こう① 西洋音楽史④	ギターの基礎を学習する。簡単なコードネームを覚える。 ロマン派の音楽について理解し鑑賞する。	授業への意欲・関心、実習の取組状況をを通して総合的に評価する。	4
10月	ギターを弾こう② 西洋音楽史⑤	簡単なコードネームを覚え、弾き語りをする。 近代～印象派の音楽について理解し鑑賞する。	授業への意欲・関心、実習の取組状況をを通して総合的に評価する。	6
11月	ギターを弾こう③ 音楽史⑥	弾けるコードネームの数を増やし、数曲の弾き語りをする。 20世紀～現代の音楽について理解し鑑賞する。	授業への意欲・関心、実習の取組状況をを通して総合的に評価する。	8
12月	ギター 発表 西洋音楽史 試験	ギター弾き語りの発表会を行う。 西洋音楽史の2学期の学習内容について試験を行う。	実技発表および定期試験を行い総合評価をする。	4
1月	混声合唱 日本音楽史①	合唱祭に向け課題曲の校歌（混声四部合唱版）を練習する。 古代～平安時代の音楽を理解し鑑賞する。	授業への意欲・関心、実習の取組状況をを通して総合的に評価する。	6
2月	混声合唱 日本音楽史②	合唱祭に向け課題曲の校歌および自由曲を練習する。 室町時代～江戸時代～現代の音楽を理解し鑑賞する。	授業への意欲・関心、実習の取組状況をを通して総合的に評価する。	6
3月	合唱祭に向けて 日本音楽史まとめ	合唱祭りハーサル・本番への取り組みを行う。 日本音楽史についてレポートをまとめる。	実技発表およびレポート提出を行い総合評価をする。	4